



すべての人の
語らいの場として。

【案内図】



【開館時間】

- 平日 午後3時から午後5時まで
- 土・日・祝日 午前10時から午後5時まで
(但し、施設使用は午前9時から午後9時まで可)

【休館日】

- 毎週月曜日 ※休日にあたる場合は、その翌日
- 12月29日～1月3日

【各室のご使用について】

見学は無料です。カミザシキ、シモザシキ、チャノマ、デドコ等、会議、集会、茶会などいろいろな催しものにご利用できます。その場合には使用料がかかります。

※使用に際しては飲食もできます(酒類も可)。ただし、館内は禁煙となっております。

【お問合せ・使用申込み】

遊佐町教育委員会教育課文化係 ☎0234-72-5892

遊佐町語りべの館

＜遊佐町指定有形文化財＞

山形県飽海郡遊佐町杉沢字中田1-1 ☎0234-72-4440

【yuzamachi kataribe no yakata】



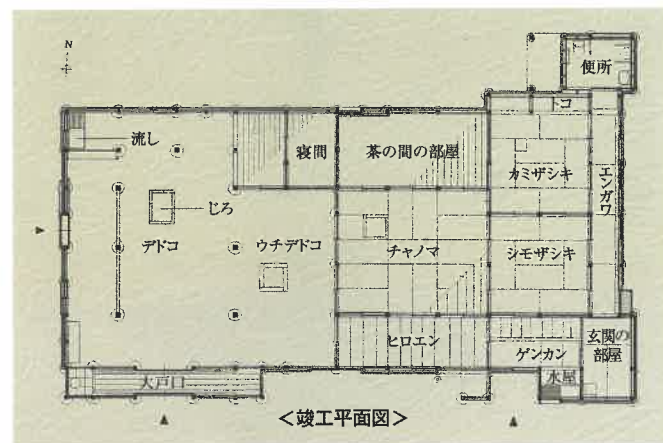
＜遊佐町指定有形文化財＞

古民家復権 甦った大組頭の家。



遊佐町語りべの館は、約300年前(元禄16年)に建てられたと伝えられる旧大組頭齋藤家(平津柳原家)の古民家を解体し、その部材を使って復原した建物です。

大組頭とは庄内の最上川北三郡のみに置かれた職制で、組内各村の肝煎の上にあり、大庄屋のもとで農村をまとめる、近世の農民としては最上層に近い地位を占めるものでした。



建物面積は、203.34㎡あります。建物の主な特徴は、①軒が低い②土間が広く、建物面積のほぼ半分を占める③天井が張ってなく、屋根裏がそのままあらわれている④大黒柱のような太い柱がない⑤梁などの横架材が細い⑥さす材は角材であって丸太材でない⑦継手・仕口に古式な鎌継・短ホゾ・略鎌継などの細工をもちいている⑧部材の表面仕上げにチョウナハツリが多く見られる、等々です。県北部から秋田県にわたる上層民家の特徴である中門が座敷と土間にあり、両中門づくりであったと推定されます。

古い建築部材を使用して文化財建造物としての価値を高めながら現代工法を駆使して断熱気密をはかり、暖房、冷房、照明、火災報知器などを配置しています。現代の私たちが古民家の雰囲気伝える空間のなかで、集会や演奏会、お茶会や文化行事など幅広く活用できるように復原されています。



①デドコ ②チャノマ ③ウチデドコ ④玄関の部屋
⑤カミザシキ ⑥シモザシキ ⑦屋根裏